



心豊かに明るい地域社会を目指して 置賜地方婦人大会が開催

7月26日、おぐに開発総合センターにおいて第65回置賜地方婦人大会が開催され、本町婦人会のほか南陽市連合婦人会、飯豊町婦人会から約70人が参加しました。

各婦人会から普段の活動について発表があった後、山形県社会教育連絡協議会顧問である金澤和子氏の講演会が行われました。「家庭・地域を支える女性の底力」というテーマでユーモアたっぷりにお話いただき、笑い声が聞こえる和やかな講演会となりました。



▲講演会の様子



泥んこになりながら交流を楽しむ

どろんこフェス DRONKOFES ドッジボール大会

7月27日、東部地区体育協会主催のDRO NKOFES ドッジボール大会が叶水地内の田んぼで開催されました。地域住民や小国高校生、マルチワーカーなど10チームが参加し、ドッジボールを通して親交を深めました。

参加者はぬかるみに足を取られながらも、ボールを避けたり、キャッチし反撃に転じたりするなど、泥だらけになりながらも白熱した試合を繰り広げました。

ボランティアサークル「トライあんぐる」による地域食堂 地元産の野菜と郷土食を味わう

ボランティアサークル「トライあんぐる」主催の地域食堂が7月27日、おぐに開発総合センターを会場に開催されました。

これは、子どもたちに小国の美味しい野菜を食べてもらうこと、郷土食を味わってもらうことを目的に行われたもので、小国町野球スポーツ少年団小国ビーグルズの子どもたちがカレーライスや有機肥料で育てられた新鮮な夏野菜、夕顔の炒め煮や冷汁といった小国町の郷土食などを味わいました。



▲美味しいカレーや料理をたくさんおかわりしていました

夏休みの学習をサポート

夏休みチャレンジウィーク

7月29日から8月19日にかけて、白い森学習支援センター主催の夏休みチャレンジウィークが開催され、学習会や地域体験学習講座、サイエンス講座が開講されました。

7月31日にクアーズテック合同会社小国事業所で開催された中学生向けのサイエンス講座では、小国高校生もボランティアとして参加し、物質の密度や電気抵抗の測定、コンデンサやトランジスタの仕組みなどについて、実験を通して学び、科学の楽しさを体感しました。



▲LEDが発光する仕組みについて説明



▲中学生が小学生に作り方を教えながらエコバックを作製

小国中学校生徒会が企画

福祉施設に手作りエコバックを贈呈

8月5日、特別養護老人ホームさいわい荘に小国中学校生徒会から手作りのエコバックが贈呈されました。

これは、小国小学校・小国中学校合同ボランティア活動の一環として中学校生徒会が企画したもので、7月19日の昼休み時間に小学4～6年生と中学生と一緒に作製しました。

心を込めて作られた70個のエコバックはさいわい荘の他、町内4つの福祉施設に贈られました。

中学生が平和を願うメッセージを朗読

第60回戦没者追悼式

8月6日、第60回小国町戦没者追悼式が、おぐに開発総合センターで挙行政され、参列した遺族や関係者が、本町の戦没者467柱の御霊に哀悼の意を捧げました。

式では小国中学校3年生の高橋維武さんと今里菜さんが「一人ひとりが相手を思いやる心を持ち生活していくことが大事だと思います」、「日本から平和を発信し、平和な世界がこの先ずっと続いていってほしいです」といった平和を願うメッセージを朗読し、争いのない世界の尊さを訴えました。



▲平和を願うメッセージを朗読